



WAKON ~和魂~

とよこうせいのなつやすみ



科学の祭典
3年ぶり



7月28日(土)、7月29日(日)の2日間にわたり、理数科1年生と生物自然科学部が参加し、「青少年のための科学の祭典」が但馬文教府で行われました。この科学の祭典は、理科の実験を行うことで自然科学の面白さや楽しさを知ること、参加した子どもたちにもついでに実験の説明を行うことでプレゼンテーション能力を養うことを目的として行われています。兵庫県各地で開催されており、豊岡会場では但馬各地の学校から有志の生徒があつまりました。本校からは「コンブやワカメに含まれている成分を使ってソフトビーズを作る実験」「イワシを解剖し胃の内容物を観察する実験」など、趣向を凝らしたブースを出展しました。参加した子どもたちは生き生きとした表情で取り組んでいました。生徒たちは、科学の面白さと自ら学んだことを伝えていく素晴らしさを実感することができました。開催にご協力いただいた各機関・各学校の皆様、参加していただいた皆様、本当にありがとうございました。

オープン・ハイスクール

但馬地区各地の中学校から生徒・保護者の方をお迎えし、本校教員や生徒から豊岡高校についての説明を行い、学校の様子を見学していただきました。

普通科 7/28・29



授業見学と、中学校OBの豊高生との交流会が行われました。授業見学では実際に豊岡高校教員による授業の様子を見学しました。交流会では、同じ中学校出身の先輩たちからの学校生活の紹介や、質疑応答などから、学校生活のイメージが沸いたようでした。質疑応答の時間では、中学生同士で楽しそうに話し盛り上がる様子も見られました。

理数科 8/19



理数科・生物自然科学部による研究のポスターセッション、その後理数科生徒による「豊高ラボ」を実施しました。理数科2年生が生物・化学実験の手順を中学生たちに教え、体験してもらいました。中学生にも伝わるように、かつ安全に実験できるように言葉を選ばしながら説明しています。中学生たちは初めて高校で学ぶ実験の内容に触れ、真剣に実験に取り組みました。

厳しい暑さの中、ご来校いただいた中学生、保護者の皆様、そして先生方、本当にありがとうございました。みなさんの豊岡高校への入学をお待ちしています。

豊岡夏の風物詩、復活！



市役所のライトアップで
映し出される「豊高魂」の文字

8月1日、豊岡踊りに参加しました。今年の柳まつりは、新型コロナウィルスの影響によって、期間が1日に短縮され、規模を縮小して行われました。今年度の大人連の参加は4団体で、豊岡高校は先陣を切り、大開通りに集う観衆たちを盛り上げました。本校からは生徒、教職員、PTA役員125名が参加しました。感染予防のため、掛け声は禁止されていますが、PTA役員の皆様が手作りしてくださった鈴を腕につけ、軽やかな音色で豊岡踊りを彩りました。また、踊り開始直前、十数発の花火がサブライズで打ち上がるなど、規模が縮小される中でも、参加者と観衆を盛り上げる工夫が随所にちりばめられ、記憶に残る夏の思い出となりました。